

各参加チーム代表者様、運営担当者様へ

新潟県3種フットサル委員会は、新潟県の感染症対策においては、「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン（第11版）」、「新型コロナウイルスの影響によるJFA国内競技会開催可否の判断基準について(2022改訂版)」、「新型コロナウイルス感染症対応 NiFA サッカー活動ガイドラン」を参考にして選手指導、運営等を行います。

【1 チームに関すること】

- ・各チームにチーム感染症対策責任者を置く。
- ・大会当日に「健康チェックリスト」を会場感染症対策責任者（会場担当等）に提出する。

【2 運営に関すること】

- ・試合会場に会場感染症対策責任者を置く。

（実際はその試合会場の会場担当や運営担当の方が兼務することになると思います）

- ・会場感染症対策責任者は「健康チェックリスト」を大会終了まで保管する。

（緊急事態が生じた場合には提出が求められます）

- ・新潟県サッカー協会の感染症ガイドラン「新型コロナウイルス感染症対応 NiFA サッカー活動ガイドライン」の5-2.事業・活動の実施時の感染防止策を確認する。

5-2. 事業・活動の実施時の感染防止策		運営サイド・感染対策責任者
	主管者・運営サイド（感染対策責任者）	
	感染予防対策の実施会場となる施設の感染予防対策をふまえた競技会・事業ごとの感染対策の実施 ・参加選手、スタッフ、大会役員の検温（健康チェックリストの提出・保管） ・3つの密をつくらない観客の検定と換気できる状況をつくる →更衣室・ロッカールーム等、座席を設置する場合は、前後左右1.5～2m間隔をあけ、お互いが正面に座らないよう配慮する ・手洗い場/手洗いができる物品、環境の整備（手洗い場所、トイレの整備） ・ふき取り消毒ができる用品の用意 ・喫煙所を設けない ・感染対策の呼びかけ、意識喚起の工夫（掲示物・張り紙・アナウンス・役員によるよびかけ） ・観戦者がある場合は観戦者を選択した行動に導く ・ゴミの廃棄（ビニール袋に入れて縛り、廃棄） ・ドリンクなどを冷やすためのアイスボックス、イベントクーラーは使用しない。 ・飲食店の運営は、安全対策に十分に配慮した上で判断する。 ・フードトレイを使用の場合は、手を入れる担当者を決め、専任担当者による受け渡しとする。なお金銭の授受は、担当させない ◆参加者がスポーツ、運動を行う場合 ①十分な距離の確保 ②位置取り（前後一直線ではなく並走する） ③唾や痰を吐くことは、極力控える ④タオルの共有はしない ⑤ドリンクの回し飲みはしない（グラウンドなどに捨てない）	
会場		
	万が一感染者もしくは濃厚接触者が終了3日以内に確認された場合の対応の確認 ・一般社団法人新潟県サッカー協会 感染対策責任者へ連絡 ・健康チェックリスト（チーム参加者 選手名簿 スタッフ名簿）の保管 ・役員チェックリストの保管 ※個人情報の取り扱いに十分注意	
事後		

5-2. 事業・活動の実施時の感染防止策		運営サイド・感染対策責任者
	主管者・運営サイド（感染対策責任者）	
	感染対策責任者の役割 健康チェックリストの作成と提出依頼（当日どのような形で提出してもらうかも検討しておく） 事前会場内（ホームページ、チームへの伝達事項として感染対策責任者と健康チェックリスト提出依頼、役員への伝達事項） ○運営マニュアルの作成（感染予防対策を急めた内容で作成） ○チーム打ち合わせ事項としての内容を事前に各チームへ周知 ○運営に関わる役員、会場スタッフ、その他関係者全員に対して事前に周知	
事前	参加者への連絡（事前伝達） ◆以下の事項に該当する場合は自主的な参加の見合わせ（大会、イベント等当日に書面にて確認） ・体調が良くない場合（例：発熱・喉痛・咳などの症状がある） ・同居家族や隣近所に感染が疑われる方がいる ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合 ◆参加者全員がマスク着用 ◆新潟県サッカー協会が示す注意事項の遵守 ◆スポーツイベント終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の速やかな報告 ◆イベント、大会中の他人との接触状況の記憶（2の6の3の距離で何分くらい話したか、その時にマスクを着用していたかなど）	
	メディアへの連絡（事前伝達） ◆取材申請を事前に届ける ・会場に合わせた取材を受け取るための取材者の人数調整 ・事前対応事項、取材時のソーシャルディスタンスの周知徹底を図る ・健康チェックシートを事前に送付し、当日に提出してもらう	

「新型コロナウイルス感染症対応 NiFA サッカー活動ガイドラン」の5-2

【3 大会参加基準（制限）】

* マネージャーなど選手と接する機会のある者を含む

想定される状況	対象	大会参加制限
感染した場合 ※1	選手・指導者*	治癒するまで参加禁止
	チーム	感染連鎖の場合は詳細確認後に有無決定（理事会決定） （例：チーム内クラスターなどは、参加を控える） （例：感染連鎖がほぼない場合は、参加を認める）
発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合	選手・指導者*	症状消失後2日間は参加を控える
	チーム	制限なし
濃厚接触者に特定された場合 ※2	選手・指導者*	待機期間は参加を控える
	チーム	制限なし
濃厚接触者ではないが、保健所指示の検査を受ける場合	選手・指導者*	検査結果（陰性）が判明するまで参加を控える
	チーム	制限なし
選手が所属する学校が休校、学年閉鎖、学級閉鎖の場合 ※3	選手(指導者*)	参加自粛が望ましい
	チーム	制限なし

※1 「症状がある場合」

発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快後24時間経過した場合は8日目から参加可能。

ただし、10日間が経過するまでは、観戦リスクが残存することから自主的な予防行動を徹底すること。

「症状が無い場合」

検体採取日から7日間を経過した場合には8日目から参加可能。加えて5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合には5日間経過後（6日目）に参加可能。

- ※2 待機期間は感染が判明した者と最終接触した翌日から5日間とする。2日目及び3日目に抗原定性検査キット（薬事承認されたものに限る）を用いた検査により陰性が確認された場合のみ待機期間を短縮（3日間）する取り扱いを含む。

同居家族が濃厚接触に特定された場合、保健所指示の検査又は医療機関での検査を受け 陰性の場合、選手本人は大会に参加しても差し支えない。

- ※3 個々やチームの判断で参加することは差し支えない。

【4 連絡体制に関すること】

感染対策を十分に行いながら活動は止めないという、新たな対策に移行します。

今後もコロナ禍において、様々な状況が予想されるため下記の連絡体制を確立します。

状況が発生したら

- ・チーム感染症対策責任者から、
 - （試合当日の場合）運営担当者へ報告する。（会場のチーム感染症対策責任者と協議）
 - （～試合前日までの場合）運営担当に報告する。

協議後→各チームの感染症対策責任者へ連絡し今後の対応について連絡

【5 その他】

- ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況で対応の変更があります。
- ・変更があれば、各チームに連絡します。
- ・連絡がない場合等は、各自治体の情報を最優先した判断をお願いいたします。

- ・大会2週間前からチーム内（個人）の健康管理チェックシートで管理を行う。
- ・大会当日に健康チェックリストを運営責任者へ提出すること。